

【ベトナム - 経済】

7月の購買担当者指数、3カ月連続の改善鈍化

英系金融大手HSBCベトナムが先週発表した7月の購買担当者指数(PMI)は51.7となり、景況感の分岐点となる50を11カ月連続で上回ったものの、3カ月連続で前月を下回った。

PMIは製造業約400社の購買担当者からの回答に基づいて算出するもので、「生産高」「新規受注」「雇用」「サプライヤー納期」「購買品在庫」の5つの指数を統合した複合指数。50を超える場合は前月比で「改善/増加」、下回る場合は「悪化/減少」を示す。

トラック規制が悪影響

7月は「生産高」が10カ月連続で50を上回ったが、2カ月連続で伸びが鈍化。「新規受注」も8カ月連続で50を上回ったが、3カ月連続で前月を下回った。「雇用」は前月をやや上回り、4カ月連続で50超となったが、一部の企業では離職率の高さが雇用拡大の足かせとなっているとの回答がみられた。「サプライヤー納期」はトラックの過積載取り締まり強化で5カ月連続で悪化

した。一方、「購買品在庫」は鈍化した2カ月連続の増加となった。

HSBCのエコノミスト、チン・グエン氏は、「ペースは鈍化したものの生産部門は成長を続けている。雇用と海外からの受注が拡大しており、どちらも数カ月は伸びると予測している」とコメントしている。

購買担当者指数(PMI)の推移(2012年5月~14年7月)



【ベトナム - 政治】

岸田外相訪越に歓迎一色

7月31日~8月2日に訪越した岸田文雄外相は、巡視船に転用する船舶6隻を供与する無償資金協力を約束するなどして、日越関係の強化を印象付けた。2カ月半にわたった南シナ海での中国との厳しい対立で緊張の解けないベトナムで、政府・国民からともに強い歓迎を受けている。2日付VNエクスプレスなどが報じた。

6隻の総額は5億円で、水産庁の漁業監視船や民間漁船(600~800トン)を転用する。中国の掘削装置(オイルリグ)をめぐる5~7月の緊張で多くの公船(漁業監視船、海上警察船)が損傷したベトナムにとって、貴重な援助と受け取られているようだ。

放水、体当たりを繰り返す中国船に対して、ベトナムは国際法を順守し紛争をエスカレートさせない姿勢を

示すために最大限自制。当初、対抗して行った放水も間もなくやめ、動画や物証を通じて中国の不法行為を国際社会に訴える手段を貫いた。

これが国際法に基づいて平和的に紛争を解決する日本政府の方針とも合致し、岸田外相はグエン・タン・ズン首相との会見で、南シナ海問題に臨むベトナムの姿勢を高く評価した。

複数の地元メディアが、岸田氏が国内各所で歓迎を受ける様子を写真特集しているほか、船舶供与を伝える大手ニュースサイト「VNエクスプレス」の記事には、読者から歓迎一色の300件を超えるコメントが寄せられ、そのうち複数のコメントでは他の読者の賛同を示す「いいね!」が1,000件を超えている。

【ベトナム - 製造】

JBIC、カツデンアーキテック越事業支援

国際協力銀行(JBIC)はこのほど、室内階段メーカーのカツデンアーキテック(東京都台東区)のベトナム事業を支援するため、海外展開支援融資ファシリティの一環として7,000万円(JBIC分)の貸付契約を同社と締結した。同社が6月に初の海外拠点として南部ビンズオン省に設立した現地法人カツデンアーキテックベトナムが住宅用金属部品の製販事業を行うために必

要な資金のうち、出資金相当を融資するもの。群馬銀行との協調融資で、融資総額は100万米ドル(約1億300万円)。

JBICは今回の融資を、カツデンアーキテックの海外事業展開への支援を通じ、日本の産業の国際競争力の維持・向上に貢献するものと説明している。